

- 1 教育事業名 「自然体験活動指導者養成研修Ⅰ」
- 2 期 日 平成24年6月16日(土)～17日(日) 通い
- 3 場 所 沖縄県立糸満青少年の家
- 4 募集定員 60名
- 5 参加人数 45名
- 6 参加者内訳 大学生1名、社会人44名
(男性26名、女性19名)(県内44名、新潟県1名)
- 7 講師
 - ・柳 敏晴氏(名桜大学人間健康学部教授)・・・講義「学校教育における体験活動の意義」
講義「教育課程と体験活動の関連性」
 - ・安里 恒男氏(那覇市立仲井真小学校長)・・・実習「体験活動の指導法」
 - ・張本 文昭(沖縄キリスト教短期大学准教授)・講義「安全管理の視点と安全計画」
 - ・琉球水難救済会(沖縄ライフセービング協会)・実習「救命救急法」
 - ・照屋 寛信(工房ふぁーかんだー代表)・・・実習「自然体験活動の技術」
 - ・安里 盛幸(伝承話資料センター)・・・実習「自然体験活動の技術」

8 実施プログラム

研修日程

1日目 6月16日(土)

受付	開講式	講義Ⅰ 「学校教育における体験活動の意義」 柳 敏晴氏	昼食	講義Ⅱ 「教育課程と体験活動の関連性」 柳 敏晴氏	講義Ⅲ・実習Ⅰ 「体験活動の指導法」(レクレーション) 安里恒男氏
----	-----	-----------------------------------	----	---------------------------------	---

2日目 6月17日(日)

8:30	9:00	11:00	13:00	14:00	16:30
受付	講義Ⅳ 「安全管理」 安全管理の視点と安全計画の立案 張本文昭氏	講義Ⅴ・実習Ⅱ 「安全管理」 救命救急法の基本技術 琉球水難救済会	昼食	実習Ⅲ 「体験活動の技術」(クラフト活動) 照屋寛信氏 安里盛幸氏	閉講式

9 事業の様子

1日目



《次長によるあいさつ》



《柳講師による講義・演習》



《3番目の人は誰かな?》



《安里講師によるレク指導》

2日目



《張本講師による安全管理の講義》



《水難救済会による救急法指導》



《照屋講師によるクラフト指導》



《安里講師によるクラフト指導》

10 参加者の声

- ・同じ意志を持った方と交流できたことは貴重な時間だった。指導者として学んだことを役立てたい。
- ・いろんな職種の方々が参加しており、幅広く情報交換が出来た。
- ・学校の先生方はもちろんのこと、子どもに関わる全ての方々がこの事業に参加すると良いと感じた。
- ・実際に生かせる内容・知識を更に取り入れれば、教育関係にもっと応用できる。

11 担当者所見

本研修は、自然体験活動指導者養成事業の一環で実施した。募集定員を若干下回る参加人数だったが参加者は積極的に受講していた。

参加者については、遠くは新潟からの参加や多種多様な職種からの参加があり、自然体験活動に興味関心のある方々の情報交換の場にもなった。

今回の講習で、基本的なスキルの向上を図れたと思うが、更にスキルアップするために研修Ⅱへの参加も期待する。